

間質性膀胱炎研究会誌 投稿規程

1. 日本間質性膀胱炎研究会（以下本会）の事業として、間質性膀胱炎研究会誌（Journal of Interstitial Cystitis）（以下本誌）を発行する。
2. 投稿先は日本間質性膀胱炎研究会とし、連絡先は事務局とする。
3. 当面は、編集委員会は設けず、幹事会がこれを代行する。
4. 本誌には間質性膀胱炎に関連した論文・記事を掲載する。論文は、総説（幹事会からの依頼による）、原著論文、症例報告、特別投稿（上記以外の内容）とする。
5. 論文の筆頭著者は本会会員であることを要する。
6. 投稿の際には、1) 連絡先、2) 原稿は発表済でもなく他の雑誌に投稿中でもない、3) 採用の際は日本間質性膀胱炎研究会へ著作権を委譲する、4) 論文の内容の雑誌およびホームページの掲載を了承する、の4点を明記した手紙をつける。
7. 投稿原稿は2名以上の査読者の審査に基づいて幹事会で採否を決定する。なお、審査の結果、原稿の修正を求めることがある。
8. 原稿は、原則は日本文とするが、英文でも受け付ける。ただし、英文の校正については著者の責任で行うものとする。
9. 原稿の構成は、原著論文は、表題、所属、著者名、要約（400字以内、5個以内のキーワード）、緒言、方法、結果、考察、文献、図表、図の説明の順とする。症例報告は、表題、所属、著者名、要約（200字以内、5個以内のキーワード）、緒言、症例、考察、文献、図表、図の説明の順とする。それ以外は、特に定めない。
10. 表題、所属、著者名、要約については英文もつける。英文の原稿の場合は、要約の和文もつける。
11. 原稿の長さは、和文原稿は全てを含めて400字原稿用紙で50枚以内とする。図表は1つが400字に相当する。英文原稿は全てを含めて5000語以内とする。図表は1つが200語に相当する。
12. 文献は、本文中の引用順に[1]のように示し、他の点は例に従う。
（雑誌和文） 東京太郎，大阪花子 間質性膀胱炎に対するヘパリン膀胱内注入 日本泌尿器科学会雑誌 2004；12：23-25.
（雑誌英文） Tokyo T, Osaka H. Intravesical instillation of Heparin for interstitial cystitis. Asian Urol 2004；12：23-25.
（書籍和文） 東京太郎，大阪花子 間質性膀胱炎に対するヘパリン膀胱内注入京都次郎編集 間質性膀胱炎の治療 日本医学出版 東京 2003：213-225.
（書籍英文） Tokyo T, Osaka H. Intravesical instillation of Heparin for interstitial cystitis. In Kyoto J, editor. Therapy of interstitial cystitis. Tokyo: Nihonigakushuppan. 2004: pp. 213-225.

13. 投稿は事務局への電子投稿が望ましい。印刷物の場合は、3部を事務局に送付する。
14. 投稿費用は不要であるが、別刷りを希望する場合は、その経費は著者の負担となる（別途見積もる）。

投稿先

〒113-8655

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部泌尿器科内

TEL : 03-5800-8753 FAX : 03-5800-8917

e-mail : sicj-office@umin.ac.jp

URI : <http://sicj.umin.jp/>